

県内の遺跡・遺物 46

たるくち **樽口遺跡出土品一括**（平成15年 県指定）

遺物出土地：岩船郡朝日村大字三面字樽口向 145 番地ほか

たるくち樽口遺跡は^{おくみおもて}県営奥三面ダム建設に先立ち、平成4年～6年にかけて発掘調査されました。水没範囲には、奥三面遺跡群と総称される19遺跡が存在しました。（奥三面遺跡群は、村教委により昭和63年から平成10年まで発掘調査されました。）

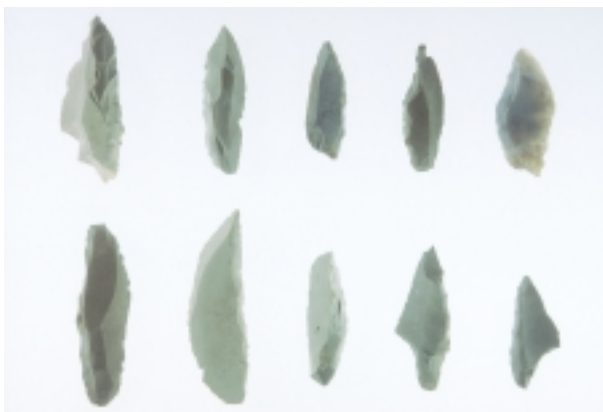
遺跡は三面川とその支流である^{すえざわ}末沢川の合流地点南側、樽山（標高621m）の北西山麓に形成された河岸段丘上に位置しています。奥三面遺跡群では最も古い遺跡で、旧石器時代から縄文時代初めにかけて人々が繰り返し利用した場所です。

指定された出土品は、出土遺物約15,000点の内、縄文時代草創期の石器6点、後期旧石器時代の石器2,994点、計3,000点を数えます。

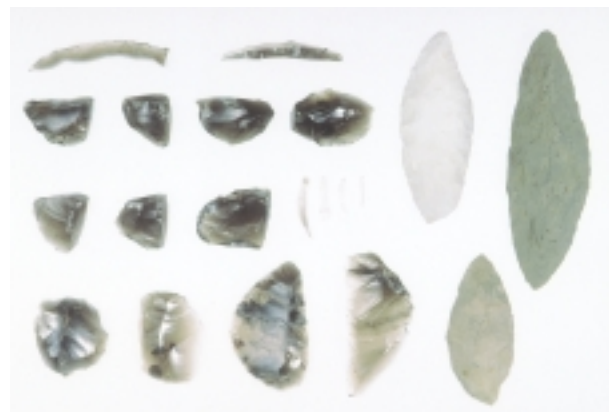
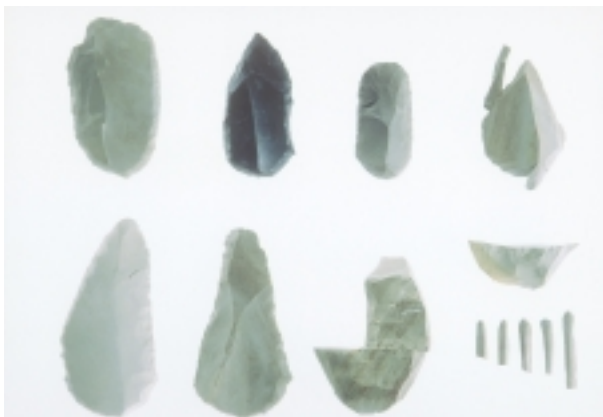
後期旧石器時代の石器は、南九州を起源とする火山灰（AT：約25,000年～20,000年前）の上下から出土していることが確認され、火山灰層を年代の指標として石器の時期差や型式差を考察できる重要な資料といえます。さらに、細石刃に使用された黒曜石は秋田県男鹿産が多用されていること、より古いナイフ形石器文化期の石器には青森県深浦産、長野県和田峠産の黒曜石が使用されていることから、旧石器時代の人々の行動域を考察する上で重要な資料となります。このようなことから樽口遺跡の旧石器時代の石器は中部地方北部の基準資料となる貴重な出土品といえます。



遺跡遠景



ナイフ形石器ほか（約20,000年前）

細石刃石核ほか（左は黒曜石製）
（約15,000年前）

細石刃石器群（約15,000年前）

（撮影 小川忠博）

埋文にいがたNo. 48

発行（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団
 〒956-0845 新津市金津93番地1
 TEL (0250) 25-3981
 FAX (0250) 25-3986
 e-mail: niigata@maibun.net
 URL: <http://www.maibun.net>
 印刷 新高速印刷(株)